

1 品種登録の番号及び年月日 第26777号 平成30年 5月21日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. ふくのこ

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡はやや淡、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は立、出穂期はやや晩、柱頭の色は白、稈の太さはやや太、稈の長さ（浮稲品種を除く。）はやや短、穂の主軸の長さは中、穂数はやや少、芒の有無は有、初期の芒の色は黄白、芒の分布は先端のみ、最長芒の長さは短、外穎の毛じの粗密は中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸の一部も概ね抽出、成熟期はやや晩、穎の色は黄白、護穎の長さは中、護穎の色は黄白、粳の千粒重は中、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重は中、玄米の長さはやや長、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、胚乳のアミロース含量は7型、玄米の香りは無又は極弱、穂発芽性はやや易、耐倒伏性は強、脱粒性は難、いもち病抵抗性推定遺伝子型はPia,Pii、葉いもちほ場抵抗性はやや強、穂いもちほ場抵抗性は強、白葉枯病ほ場抵抗性は弱、しま葉枯病抵抗性品種群別は外国稲型（Stvb-i）である。

出願品種「ふくのこ」は、対照品種「ヒノヒカリ」と比較して、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がやや短であること、胚乳のアミロース含量が7型であること等で区別性が認められる。対照品種「ホシニシキ」と比較して、穂の主軸の長さが中であること等で区別性が認められる。対照品種「ホシユタカ」と比較して、出穂期がやや晩であること、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がやや短であること、玄米の形が長円形であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

重宗明子 中込弘二 石井卓朗 松下景 春原嘉弘 飯田修一 出田収

7 出願公表の年月日 平成28年9月9日